



民生委員・児童委員

第17号



たが民児協だより



発行者 多賀町民生委員児童委員協議会
事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課
TEL.0749-48-8115 有線2-2021
E-mail fukushi@town.taga.lg.jp

—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

昨年12月1日の民生委員児童委員の斉改選により、多賀町では33名(内主任児童委員2名)が厚生労働大臣より委嘱を受け就任いたしました。

今回の改選に伴い、長年要職に就かれて地域福祉の向上に貢献されました小財豊信会長をはじめ12名の方々が退任されました。ご退任いただいた皆様には任期中における活動とご苦勞に對しまして敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも地域福祉活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私はこのたび多賀町民生委員児童委員協議会の役員改選におきまして会長に選出され、任期3年間その重責を担うことになりました。民生委員児童委員としての経験、識見ともに浅く力足らず

安全で安心して暮らせる地域づくりをめざして

会長就任にあたって

多賀町民生委員児童委員協議会
会長 土居 正彦

ではありますが、今日まで先輩方が築いて来られました民児協活動の功績に学びながら、その職責を務めていきたいと考えています。

私たち民生委員児童委員は、皆さんの身近な相談相手として、昨年12月の就任以来それぞれの担当地区において、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で、安全で安心して暮らせる地域づくりのお手伝いを始めています。

また、当協議会におきましても、地域の実態や課題に應じた取り組みができるように、各種事業や研修の実施、情報の収集、提供、広報活動の充実等に務め、委員が活動しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

今後とも、行政機関や社会福祉協議会および関係福祉団体、そして町民皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

「広げよう」地域に根ざした「思いやり」行動宣言

- 1、安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します
- 2、地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します
- 3、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます
- 4、多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつながり役を努めます
- 5、日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います

地域のみんで支えあい



研修会の様子

新任委員の一言

主任児童委員 富田 愛子

2月末に、幼稚園・保育園・小学校・中学校を訪問し、子どもたちが元気に過ごしている姿を見ていただき安心いたしました。

これからは、研修を積極的に受け、子どもの教育・学校生活に関することなど、ご相談をさちんとお受けできるようにしたいと思います。

多賀担当 宮下 進

この度12月1日をおもちまして民生委員児童委員に就任いたしました。

地域の現状を早く知り、地域の皆さんのために、また、安心して住み続けることのできる地域社会づくりのために、地域住民の皆さん、関係機関、団体等の理解と協力を得ながら一生懸命努めさせていただきますと思っています。

多賀担当 藤井 金一郎

団塊世代が高齢者となり次の世代にお世話になる、私もその中の一人です。今まで地域との関わりが少なく反省している日々です。その中で、今回委員の委嘱を受け責任と不安で一杯です。

お世話する人とされる立場の一人として、先輩諸氏のご指導のもと、地域のお役に立つよう努力いたします。

屏風・後谷・向之倉・甲頭倉・水谷・桃原担当 宮下 勇

私の担当地区は児童がいなくて高齢者の一人暮らしが多い地区です。今は皆さんお元気ですがこれから年を重ねるにつれ民生委員児童委員の役割も増えてくると思います。

今まで何気なく見過ごしてきた日々の出来事に気を配り、地域の皆様のお力をお借りし、気軽に声をかけて頂けるような活動ができればと思っています。

河内・靈仙担当 菅森 時子

私の地域は過疎化により住人は減少し、生活をするには厳しさを感じます。しかし、区長さんはじめ住人同士が常に安否を気遣って声をかけ合い、地域のつながりを大切にしておられます。『誰もが互いに支え合って生きる』私もこの思いに共感し、声かけや見守り訪問を重ね、信頼していただけるよう努めてまいります。

栗栖担当 山中 元子

少子高齢化の進展とともに、福祉ニーズも多様化する今日、民生委員児童委員の担う役割がますます重要になっていきます。定例会等に参加する度にその思いを強くし、課せられた使命の重さに身のひきしまる思いです。

地域の状況把握や関係機関との連携等、「地域のつなぎ手」として、微力ながら努力していきたいと思っています。

木曾・脇ヶ畑担当 多賀 節子

「おはようございます。」「いいお天

気ですね。」「お元気ですか。」「とお声をかけていただくことから地域の皆様との「つながり」を大切に「絆」を深めていきたいです。そして困り事があればご相談を受け、行政とのパイプ役ができるよう資質向上に努めて参ります。よろしくお願いたします。

久徳担当 小財 良一

民生委員児童委員をお引き受けし5カ月余り経った今でも、まだまだ民生委員とはなんぞや」ということが十分理解できていないにもかかわらず、最低限の役目だけをさせてもらっている感じです。

今後はもう少し余裕をもって、自分なりのやり方で関係者の皆さんと付き合ひさせていただきます。

土田担当 曾我 勝博

昨年12月、民生委員児童委員の改選に伴い、土田地区担当の大役を仰せつかり身の引き締まる思いで一杯です。

前任者より引き継ぎを受け大変重要な職務であることを聴き、また、新人研修でも同様の説明を受け、益々不安が募りますが新人ですので諸先輩の指導を仰ぎ、一日でも早く皆様のお役に立てるようと思っています。

敏満寺担当 小菅 綾子

この度の改選により委員の委嘱を受け、責任の重さに驚きとまどいを感じています。

今、地域社会では高齢化が一段と進み家族や地域の絆が希薄になりつつある中、地域の信頼関係が大切だと考えます。

「地道にこつこつ」をモットーに、気軽に声をかけていただける相談相手であるよう研鑽したく存じます。

猿木担当 古川 新司

暮らしの大変厳しい今の時代に民生委員児童委員として何が出来るだろうか考えた時、やはり社会的弱者の目線で少しでも人々の支えになり、その人々の思いを聴きとり、発信していくことしか無いのかなと思っています。

今後3年間、先輩の指導を受けながら民生委員児童委員としての活動をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

藤瀬担当 西澤 知子

民生委員児童委員をお受けして5カ月が過ぎました。この活動は幅が広く奥が深く、地域で活動内容も異なり、その都度、民児協事務局や社会福祉協議会に相談させてもらっています。

生活環境も変わりつつあり、高齢化が進む中、キャッチフレーズ『心のふれあいを大切に』を笑顔で取り組み、最も身近な相談相手となるよう努力していきたいと思っています。

小原 霜ヶ原担当 足立 輝夫

民生委員児童委員の役割の重要性を受けとめ、地域住民の皆様のお役に立つよう努めて行く決心をしました。

常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う「地域のつなぎ役」として、住民の信頼を得るよう活動していく覚悟です。

災害時ひとりも見逃さない運動の推進

多賀町の民生委員児童委員・主任児童委員を紹介します。

任期は平成28年11月30日まで

 南後谷 黒川 清子	 萱原 久保田 里美	 木曾・脇ヶ畑 多賀 節子	多賀町の民生委員児童委員・主任児童委員を紹介しました。 任期は平成28年11月30日まで			
 大君ヶ畑 霊正 芳信	 大杉 山本 喜久代	 河内・霊仙 菅森 時子				 久徳 小財 良一
 主任児童委員(全域) 林 壽美子	 小原・霜ヶ原 足立 輝夫	 麻風・後谷・向之倉・甲頭倉・水谷・橋原 宮下 勇	 久徳 近藤 勇	 敏満寺 山口 勲	 多賀 宮下 進	
 主任児童委員(全域) 富田 愛子	 佐目 東岸 良子	 川相 森 清美	 月之木 小財 惣九郎	 敏満寺 小菅 綾子	 多賀 大辻 美代子	
組織(役員)			 一ノ瀬・仏ヶ後 林 喜久雄	 栗栖 山中 元子	 土田 曾我 勝博	 多賀 藤井 金一郎
			 藤瀬 西澤 知子	 一円 土居 正彦	 四手 植野 比登美	 多賀 遠城 はつえ
障がい者福祉部会長 黒川 清子			 富之尾・梨ノ木・楢崎 坂上 法子	 中川原 野村 惣藏	 大岡・八重練 馬場 勝子	 尼子 岸邊 次郎
			児童青少年部会長 火口 悠治			高齢者福祉部会長 近藤 勇

町長の「あいさつ」

昨年12月1日には、全国一斉に民生委員児童委員、主任児童委員の改選が行われ、多賀町におきましても厚生労働大臣より31名の民生委員児童委員、2名の主任児童委員の方々に委嘱状が伝達され、ご就任されました。

委員各位におかれましては、これからの3年間地域住民の福祉向上のためご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、最近の社会情勢であります。ひとり暮らし高齢者の問題や児童虐待問題など、地域住民が抱える問題は非常に複雑で深刻なものとなつてきております。

そして、家族や地域の絆が弱まり社会の中で孤立していく人たちが増える中で、地域に密着した民生委員児童委員の皆様の存在はますます重要なものであると感じております。

今後とも、住民皆さんの身近な相談相手として、また地域と行政を結ぶパイプ役として、地域福祉推進の中心的な役割を担っていただきますよう、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。私のご挨拶といたします。

多賀町長 久保久良

健やかな成長を願って

児童青少年部会長 火口 悠治

新学期が始まりました。保育園や幼稚園、小学校、中学校では、子どもたちの元気な声が聞こえています。

最近の報道を見ますと、各地では信じられないような事件が起こっています。ベビーシッター事件、児童虐待、いじめ、自殺、スマートフォンや携帯電話による非行や問題行動などです。

児童青少年部会では、多賀の子どもたちが、健やかに育つてくれることを願って活動しています。

子どもたちの様子を知るために保育園や幼稚園、小・中学校を訪問しています。また、児童を取り巻く青少年問題について、施設を訪問したり講師を招いて研修をしています。

就学前の子どもと保護者を対象に子育てサロンを実施したり、赤ちゃんがお生まれになった家庭を訪問し、お祝いカードと絵本を贈る活動もしています。

子どもたちの登下校では、「おはよう」「おかえり」等の声かけと見守りに力を入れていきます。皆様のご支援をお願いします。

健康で安心して暮らせる多賀に

高齢者福祉部会長 近藤 勇

年々延びる平均寿命と健康寿命の格差を縮める方針が国で示され、県・町共に取り組まなければならぬ課題となつてきています。

これを受けて、高齢者福祉部会では、健康で安心して長生きできるようにと願い、高齢者問題について活動計画を策定し、活動していきたいと思っております。

① 各字で開催されているサロンを見学し、交流を図ります。

② 災害に遭わないことはもちろんですが、災害発生時には要援護者の安否確認を行い、被害者を出さないよう努めます。

③ 高齢者誕生日メッセージカードを活用し、高齢者世帯訪問時、また、サロン開催時に手渡し、日々の生活状況等を確認してまいります。

④ 日々手口が巧妙化されている振り込め詐欺、悪質訪問販売等の被害者とならないよう、訪問時やサロン開催時等の機会に話題として取り上げ、注意を呼びかけてまいります。

高齢になっても、健康で安心して暮らしていけるよう、地域の方々のお力添えをいただき支援の輪を広げていきたいと思っております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

地域福祉にご協力を

障がい者福祉部会長 黒川 清子

障がい者福祉部会の主な活動として、まず恒例となつた杉の子作業所のクリスマス会開催への協力参加をしております。昨年は百名近くの参加があり、民生委員の手作り料理と杉の子作業所からいただいたケーキでお腹一杯になった後、ゲームや歌・ダンス、委員扮するサンタからのささやかなプレゼントなど、あつという間に楽しい時間が過ぎました。次回のクリスマス会も盛り上がるようにアイデアのある方は是非「一報ください」。

次に、杉の子作業所のアルミ缶回収に協力しています。缶は洗って潰し駐輪場の隣に出します。また、古切手とベルマークを集めて彦根学園へ届けています。届けた古切手等は資金となり、学校や施設の備品購入にあてられています。

皆様のお家に、これらの資源がございまして、地区の委員さんにお渡しくださるようご協力をよろしくお願いいたします。

三年間、微力ではありますが地域の福祉活動に努力したいと思います。

